

# 開催案内

## マンスリーセミナー

449 回	10/27 (火)	目に見えない光が切り拓く「光の世紀」 ～次世代のレーザー「光コム」～	徳島大学 ポストLEDフォトンクス研究所 所長・教授 安井 武史 氏
<p>(内容) 21世紀は『光の世紀』と呼ばれ、光を用いない日常生活はもはや考えられない。また、最先端研究でも、光に関連したノーベル賞は、21世紀(この20年間)だけでも、9件にも上る。これは、光という技術が、極めて多様性と汎用性に富んでおり、様々な応用に適用可能であることを示唆しているが、そうすると、もはや光は使い尽くされたのであろうか? 一般に光という可視光をイメージするが、実は光の波長範囲の大部分は、目に見えない光で占められており、目に見えない光にこそ更なる可能性があると言える。本講演では、「深紫外光」「赤外光」「テラヘルツ波」という『目に見えない光』の特徴と可能性を概略すると共に、波長適用性の広い次世代レーザー「光コム」について紹介する。</p>			
450 回	11/17 (火)	重力波で見えてきた新しい宇宙の姿と、 それを支える極限計測技術	国立天文台 重力波プロジェクト推進室 准教授 麻生 洋一 氏
<p>(内容) 近年、重力波という新しい観測手段を用いることで、これまで知られていなかった新しい宇宙の姿が次々と明らかになってきました。重力波とは時空の歪みが波として伝播していく現象です。これまでにブラックホールや中性子星といった超高密度天体の合体現象からの重力波が観測されており、宇宙における重元素合成の起源など様々な科学的知見が得られつつあります。また重力波による極めて微小な時空の歪みを検出するためには、極限的な感度を持ったレーザー干渉計技術が必要となります。本講演では、重力波天文学の最新成果とそれを支える光計測技術について紹介します。</p>			
451 回	12/15 (火)	ガラスの超高速精密加工 ～フェムト秒レーザー誘起高速現象の解明とその応用～	東京大学 大学院工学系研究科 助教 伊藤 佑介 氏
<p>(内容) 電子機器や光学機器のさらなる高性能化・低コスト化を実現するために、ガラス材料への微細加工を高速かつ精密に施す技術が求められている。微細加工が可能な技術としてフェムト秒レーザー加工が注目されているが、この手法には、加工能率が著しく低いという課題と、クラックが形成されるために精密加工が困難であるという課題が存在する。本講演では、これらの課題の生じる要因を高速現象観察と数値計算に基づき解説し、課題を克服した超高速微細精密加工法を紹介する。</p>			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧ください。

会場：オンライン開催  
時間：15：30～17：30  
定員：90名(申込先着順)

<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

申込方法：[申込フォーム](#)よりお申込み下さい。

参加料：協会賛助会員：1,500円(1回につき・消費税込)  
一般参加：3,000円(1回につき・消費税込)  
大学・公的機関：無料(学生・院生含む)

支払方法：銀行振込

問合せ先：光産業技術振興協会 開発部 村谷  
TEL：(03)5225-6431 E-mail：[mly@oitda.or.jp](mailto:mly@oitda.or.jp)